

「東海北陸ブロック会 静岡大会」への参加報告書

関東甲信越建築士会ブロック会
青年建築士協議会 会長
荘司和樹

□2月21日(土) 12:00/掛川入り

はじめての掛川

建築士会東海北陸ブロック会 青年建築士協議会 平成20年度 後期ブロック大会 静岡大会に招かれ参加してきました。今大会は、静岡県掛川市で開催され、会場はヤマハリゾート つま恋というホテルです。開会式の後、第1分科会、第2分科会、第3分科会という3つのイベントが同時進行で行われるため、参加者は、あらかじめ班分けされている分科会へと移動します。

第1分科会は、地域貢献活動発表会、

第2分科会は、女性協議会が企画した「モノモノ=みんなのトイレ=づくりワークショップ」、

第3分科会は、静岡県青年委員会が企画した「技・知・発・承～建築のわざ再発見」、

という内容です。私は、第3分科会へと参加しました。



写真上は、開会式の様子。会場となった「ヤマハリゾート つま恋」は、広大な敷地内(巡回バスで移動)に施設が点在されているため、移動に結構な時間がかかりました。写真下は、第3分科会の風景ですが、開会式会場から、ここまで歩いて10分ほどかかります。



第3分科会は、体験型ワークショップで、左官、瓦、大工という3つのメニューが用意され、職人技を体験学習することができます。上部右側の写真は、左官体験の様子です。プラスターボードに、漆喰、珪藻土、糊さし(のりさし)仕上げ、並大津(なみおおつ)仕上げの4種類の塗り壁材料を実際に塗りつけてみるすることができます。各塗り壁材の特徴の説明を受けながら、鏝(こて)の持ち方、使い方、そして、均一に塗ることの難しさを体感しました。



写真上は、瓦割り体験の様子です。最初に割りたい所に道具を使って線を引き、瓦形状を考慮しながら玄翁で割っていきます。これも体験して始めて分かりましたが、一度に割らないようにすることがコツでした。



写真上は、鉋(かんな)削り体験の様子です。その他、大工道具の説明から、その調整方法について解説を受け、その後、実際に削ってみます。



私が一番、感銘を受けた大工道具が差し金でした。(写真上)

表裏で表示される目盛りが数学と絡み合っております(1:√2)。まさに、大工さんの計算機ですね。日本建築を教育されている専門学校講師の方より、非常に分かりやすく解説して頂きました。

今回は、時間の都合で第3分科会にしか参加できませんでしたが、体験型のイベントの楽しさと面白さを改めて痛感しました。また、静岡県瓦工事業組合青年部の方から、瓦工事業組合は、全国組織として47都道府県に存在しており、今後は、建築士会活動とリンクした活動を展開していきたいというご提案も頂きました。是非、実現したいと思います。枠を超えていかないと、いつまでたっても新しいステップへと抜け出せませんからね。

以上